

保護者様（スクリレのみ配付）

名古屋市長上志段味小学校長
竹澤 秀樹

学校評価に関するアンケートの結果

先日は学校評価に関するアンケートにお取り組みいただき、ありがとうございました。教職員に行ったアンケート、児童に行ったアンケートとともに結果をまとめましたのでご報告させていただきます。皆様のご意見を基に、さらに信頼され開かれた学校づくりを目指していきたいと考えています。

【表の見方】

「そう思う」＝4点、「ややそう思う」＝3点、「あまりそう思わない」＝2点、「そう思わない」＝1点で換算し、平均値を示しました。80%が「ややそう思う」と評価した場合は2.6点以上、80%が「そう思う」と評価した場合は3.4点以上となります。

※ 保護者回答率：R6:83% R5:83%（教職員及び児童は、原則全員が回答）

学習意欲

対象	質問内容	R6	R5
教職員	児童が、学習に意欲的に取り組める指導・工夫をしている	3.6	3.6
保護者	お子様は、意欲的に学習に取り組んでいる	3.3	3.3
児童	あなたは、すすんで学習に取り組んでいますか？	3.6	3.6

楽しい学校

対象	質問内容	R6	R5
教職員	児童が、学校で楽しく過ごすことができるよう指導・工夫をしている	3.6	3.9
保護者	お子様は、楽しく学校へ登校している	3.6	3.6
児童	あなたは、学校で楽しくすごしていますか？	3.7	3.7

あいさつ

対象	質問内容	R6	R5
教職員	児童に、あいさつの大切さを伝えている	3.6	3.7
保護者	お子様は、進んであいさつをしている	3.2	3.2
児童	あなたは、すすんであいさつをしていますか？	3.5	3.5

タブレット活用のきまり

対象	質問内容	R6	R5
教職員	児童が、正しくタブレットを使うことができるよう指導・工夫をしている	3.4	3.5
保護者	お子様は、ご家庭や学校のルールを守ってタブレットを活用している	3.5	3.5
児童	あなたは、家のルールや「かみっこタブレット使用の約束」を守ってタブレットを使っていますか？	3.8	3.7

安全な登下校

対象	質問内容	R6	R5
教職員	児童が、安全に登下校できるよう指導・工夫をしている	3.6	3.6
児童	あなたは、交通ルールを守り安全に登下校していますか？	3.8	3.8

安全な活動

対象	質問内容	R6	R5
教職員	児童のけが予防や健康管理に配慮して学習活動を行っている	3.6	3.7
保護者	学校は、けがの予防や健康管理に配慮して取り組んでいる	3.6	3.6

主体的な活動

対象	質問内容	R6	R5
教職員	児童が、学校や学級のために主体的に行動できる指導・工夫をしている	3.5	3.7
児童	あなたは、学校や学級がよりよくなるためにすすんで行動していますか？	3.4	3.4

思いやり

対象	質問内容	R6	R5
教職員	児童に、思いやりの大切さを伝えている	3.7	3.8
児童	あなたは、学校や学級の人の気持ちを考えて行動していますか？	3.5	3.5

家庭や地域との連携

対象	質問内容	R6	R5
教職員	家庭や地域と連携・協力するよう心掛けている	3.6	3.7
保護者	学校は、家庭や地域と連携・協力しようとしている	3.6	3.6

相談体制

対象	質問内容	R6	R5
保護者	学校は、お子様のことについて相談しやすい雰囲気である。	3.5	3.5
児童	学校でこまったときは、先生たちやスクールカウンセラーに相談しやすいですか？	3.1	3.1

情報発信

対象	質問内容	R6	R5
保護者	学校は、学校だよりやホームページ等で学校や児童の様子を分かりやすく伝えようとしている	3.6	3.6

行事への参加

対象	質問内容	R6	R5
保護者	運動会や作品展、授業参観等の学校行事は参加しやすいものとなっている	3.7	3.7

学習の成果

対象	質問内容	R6	R5
児童	あなたは、授業中に「できた」「わかった」を実感することができていますか？	3.6	3.6

どの項目においても、教職員・児童・保護者の評価はおおむね満足できるものでした。これも、家庭や地域のご協力があってこそその結果だと感謝申し上げます。今後も家庭や地域の方との連携をさらに深め、よりよい上志段味小学校を目指していききたいと思います。

【今後の取り組み（主なもの）】

○ 学習意欲、楽しい学校、主体的な活動

本校の校訓は「えがお」です。朝の「えがおタイム」を中心に、児童が学級、学校、地域、そして自分自身をえがおにするために主体的に活動できるよう、取り組みを進めます。

○ 相談体制

児童はもちろん、保護者の皆様からも、困ったことがあるときなどに相談していただけるよう、取り組みを進めます。

○ 家庭や地域との連携

来年度から「なごやコミュニティ・スクール（NCS会議）」が全市で実施されます。具体的には、学期に一度、地域や保護者の代表の方と教職員で「NCS会議」を行い、学校と地域、家庭のさらなる連携を図ります。学校と地域、家庭が連携することで、児童をえがおにする取り組みができればと考えています。

【自由記述でいただいたご要望（一部）とそれに対する学校の回答】

要望： 短縮授業が多く、保護者にとって負担だ。また、授業時間も足りているのか不安で、他校と比較して学力が低いのではないか。

回答： 本校では、児童の体調面、精神面への配慮や年間授業時間数の調整のため、短縮授業を実施させていただいております。保護者の方の負担となることは承知しておりますが、趣旨をご理解いただければと思います。

他校との違いを心配される声をいただきましたが、名古屋市全体の取り組みとして4時間授業日の設定が進められており、本校独自の取り組みでないことも併せてご理解いただければと思います。また、年間授業時間数は、市教育委員会により定められており、本校の年間授業時間数はそれに基づいて設定されています。そのため、授業時間が足りないということはありませんのでご安心ください。

学力については、他校と比較するものがないため、明確にお答えすることはできません。しかし、過去4年間の「全国学力・学習状況調査（6年生を対象に春に実施）」においては、国語、算数ともに市の基準で「おおむね満足できる～十分満足できる」という結果になっています。この調査は、単純に学力を図るためのものではないため参考程度にお考えください。

要望： 運動会の表現運動をもっとレベルの高い内容にしてほしい。もっと、完成度を高めてほしい。

回答： 本校では、運動会の練習時間を、教育課程をもとに9時間と定めています。その時間で、短距離走、競争遊戯、表現運動の全てを練習します。

過去には、長時間の練習日程を組み、厳しい指導のもとレベルの高い内容や高い完成度により、児童の達成感や満足感を高めることを目的としていた時代もありました。しかし、現在は限られた時間の中で、児童にとってよりよい教育活動となるよう取り組みを工夫し進めています。

これまでを知っている保護者の方から見た場合は、規模や完成度といった点で満足のものではないかもしれませんが、趣旨をご理解いただき、児童への称賛や励ましの声掛けなどのご協力をお願いします。

要望： 登下校時における交通事故や不審者対応といった安全の確保の面で不安なところがある。学校やPTAとして取り組みを強化してほしい。

回答： 登下校については、文部科学省より「基本的には学校以外が担うべき業務」と示されており、地方公共団体や保護者、地域住民が担うべきとされています。それを受け、市内の学校でも分団登校を廃止する等の取り組みが進められています。

しかし、上志段味小としては、学校も地域住民の一員と捉え、登下校中の安全対策について取り組んでいます。分団登校についても、現状必要なものと考えており、今後も継続していく予定です。

他校では、PTA全体で朝の旗当番を実施している場合もありますが、現状の本校PTAの体制では、実施は難しい状況です。PTA役員の方々には、4月9日～19日に登校の見守りを行っていただきました。

今後も、地域住民の一員として、PTAや保護者の皆様と協力し、子どもの登下校の安全に向けた取り組みを行っていきます。また、警察への定期的なパトロールの要請など、関係機関への働き掛けも行っていきます。地域にお住まいの皆様にも、子どもの登下校の時間に合わせて、散歩や花の水やりなどを行っていただけるよう、学校評議員会等を通して働き掛けていきます。

要望： 地域の公園のルールが厳しく、思い切り遊べる場所がない。授業後の学校の運動場を開放するなど、授業後に安全に遊べる場所を提供してほしい。

回答： 本校では、授業後に部活動やトワイライトが運動場を使用していますので、運動場を授業後に使うことは原則できません。また、使用する団体がない場合でも、団体として使用許可が必要となりますので、子どもたちが自由に使えるということは、難しくなっています。

学校外で安全に遊べる場所の提供については、学校も地域の一員として、保護者の皆様と協力し進めることができればと思います。

要望： 学校の階段が汚い。子どもが生活する場所をもっときれいにしてほしい。

回答： 本校では、毎日給食後に 10 分間の清掃時間を設けています。階段は、高学年が毎日掃除をしています。職員の間から見ても、子どもたちは本当に一生懸命取り組んでいます。しかし、階段が吹き抜けになっており、さらに土間（靴箱）からつながっていることで、非常に埃が溜りやすい構造となっており、清掃後の昼放課に多くの児童が移動した後は、もう汚れているような状態です。

本校の用務員やスクールサポートスタッフを中心に、手が空いている時には職員で掃除をしていますが、それだけでは苦しい状況です。

来年度は、地域ボランティアなどの活用も視野に入れ、子どもたちがきれいな環境で生活できるよう工夫できればと思います。

要望： タブレット PC の持ち帰りは、荷物が重くなり子どもの健康面が心配だ。持ち帰りを減らしてほしい。

回答： 本校では、ご家庭の方針で持ち帰りを控えたいという場合は、学校に保管することも可能です。ただし、充電器の関係で持って帰ったり、置いて帰ったりを繰り返すことは、より荷物が多くなってしまうため、おすすめてできません。

学校で保管したいという希望がある場合は、教務主任 原までご連絡ください。

この他、いただいたご意見を参考に、取り組みを進めてまいります。ご協力ありがとうございました。